

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 30 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/28 9:54～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/20 10:00～10/28 9:16 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・10/30 10:00～16:00 移送実施
	・仮設タンク メガフロート	・10/30 移送なし

移送先	移送先の水位状況 (10/30 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 3,374 mm(水位上昇累計: 4,591 mm) 10/29 7:00 から 192 mm 下降
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,245 mm(水位上昇累計: 2,971 mm) 10/29 7:00 から 8 mm 上昇

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/30 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. < + 850 mm (10/29 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,147 mm (10/29 7:00 から 44 mm 上昇)	O.P.+ 4,201 mm (10/29 7:00 から 2 mm 上昇)
2号機	O.P.+ 2,807 mm (10/29 7:00 から 31 mm 下降)	O.P.+ 2,845 mm (10/29 7:00 から 28 mm 下降)	O.P.+ 2,923 mm (10/29 7:00 から 34 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,197 mm (10/29 7:00 から 20 mm 上昇)	O.P.+ 2,990 mm (10/29 7:00 から 22 mm 上昇)	O.P.+ 3,162 mm (10/29 7:00 から 29 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 2,980 mm (10/29 7:00 から 16 mm 上昇)	O.P.+ 3,002 mm (10/29 7:00 から 15 mm 上昇)

## <放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5~6号放水口北側約30m	10/29	8:40	ND	0.18	0.14
福島第一 1~4号放水口南側約330m	10/29	8:20	ND	0.02	0.02
福島第二北放水口(福島第一から約10km)	10/29	8:15	ND	0.01	ND

・その他、10/29に採取した福島県沿岸1地点および10/28に採取した沖合3地点の海水における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134、137)については全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (10/30 11:00時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	21.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	24.4
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	22.9
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	31

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

## <原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/30 11:00時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.5 m <sup>3</sup> /h)	62.0	63.7	124.6 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.7 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約7.0 m <sup>3</sup> /h)	71.9	75.9	112 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.5 m <sup>3</sup> /h,炉心スプレイ系:約8.0 m <sup>3</sup> /h)	65.4	71.4	101.5 kPaabs

[1号機]・10/30 15:05 1号機原子炉への給水系からの注水量を約6.5 m<sup>3</sup>/hへ変更。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

## <その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/27 協力企業にて使用済燃料共用プール建屋にある使用済燃料キャスク等を取り扱う天井クレーンの年次点検を行っていた際に、当該クレーンの走行用車軸の連結部ケーシングに割れが発生していることを確認。今後、当該連結部の状況等の詳細について、点検予定。
- ・10/28 12:53 2号機原子炉格納容器ガス管理システムにおいて、排気ファンを起動し、試運転を開始。その後、システムの運転に問題がないことを確認し、18:00 本格運転を開始。
- 10/29 2号機原子炉格納容器ガス管理システムの排気ガス中の水素濃度について、本格運転開始時は約1 vol%だったものが17:00時点で約2.3 vol%へ増加していることが確認されたことから、排気ガス中における水素濃度が可燃限界濃度(4 vol%)を上回らないようにするため、18:10 原子炉格納容器内への窒素ガス封入量を約14 m<sup>3</sup>/hから約16.5 m<sup>3</sup>/hに調整。
- ・10/29 8:30頃 発電所構内で1号機原子炉建屋カバーリング工事で使用した大型クレーン解体作業に従事していた協力企業社員2名が負傷。1名は10:35にドクターヘリで、福島県立医科大学附属病院へ搬送後、手術等の治療を実施。もう1名は、14:20に業務車で、いわき市立総合磐城共立病院に搬送後、検査を実施。

以上